

振り込め詐欺多発

振り込んでからではもう遅い!!



犯人は電話の向こうで あなたを狙っています

振り込め詐欺被害が多発しており、匝瑳市内でも振り込め詐欺と思われる電話がかかってきたと多数報告されています。

振り込め詐欺をはじめとする「特殊詐欺」は、手口がますます巧妙となっており、犯人は巧みな話術で信じ込ませようとしてきます。

少しでも不審に思ったら家族や身近な知人、警察などに相談しましょう。

高齢者が狙われやすい「オレオレ詐欺」

振り込め詐欺の中でも、高齢者が狙われやすい「オレオレ詐欺」は、金融機関を通じて振り込ませるものに加えて、犯人がキャッシュカードや現金を直接自宅へ受け取りに来る詐欺が増加しています。

「会社のお金を使い込んだ」「事故を起こしたので示談金としてお金を振り込んで欲しい」「取引用のお金を無くした。別の者にお金を取りに行かせる」などの電話は詐欺の疑いがあります。

「電話番号が変わった」は要注意

特に「電話番号が変わった」という電話がかかってきたら要注意です。「元の電話番号にかけ直す」、「誰かに相談する」などして、すぐに振り込まないようにしましょう。

相手がどんな身分を名乗っても、突然電話をかけてきて振り込みや現金の手渡しなどを要求した場合には詐欺を疑ってください。そのような電話があった場合には振り込んだり、身内以外の人にお金を渡したりしないでください。

警察官などがキャッシュカードを預かることはありません

警察官や銀行職員、市役所職員などがキャッシュカードを預かることは絶対にありません。相手が行政や金融機関の職員を名乗ったとしても、カードを渡したり、暗証番号を教えたりしないでください。

普段からの心構えを

家族で振り込め詐欺などについて話し合い、事前に電話での呼びかけ方や合言葉を決めておきましょう。

在宅時であっても、常に留守番電話に設定しておき、着信時の電話番号に心当たりがないときには電話に出ないようにすることも被害防止に効果があります。

「迷惑電話チェッカー」で不審電話をブロック

事前登録された不審電話番号からの電話をシャットアウトできる機能を備えた「迷惑電話チェッカー」は、被害防止に有効な手段となります。

※このページに関するお問い合わせは環境生活課市民生活班 ☎73-0088まで



匠瑛警察署
署長
かわしま かつし
川島勝治 警視

協力して被害防止に
取り組んでいます



匠瑛市防犯協会
会長
うがじん おさむ
宇賀神 脩 さん

「常に“自分ごと”の意識を持って」

今年に入り、県内の振り込め詐欺などの被害件数は5月末現在で487件に上り、昨年同時期と比べプラス171件と急増しています。匠瑛署管内でも今年2月に、「小切手を落とした」という嘘の電話で300万円をだまし取られる事件が発生しています。匠瑛署では、シニアクラブと協力して寸劇などを通じての呼びかけの他、金融機関や防犯協会などと連携して対策に力を入れて取り組んでいるところです。

犯人は名簿を基に一斉に電話をかけてきますので、詐欺はいつ発生するか分かりません。“他人ごと”ではなく“自分ごと”の認識を持ち、「オレオレ」と電話がきたら詐欺だと思ひましょう。また、電話を受けた当事者は冷静な判断ができなくなります。少しでもおかしいと感じたら、まずは家族や友人・知人、警察に相談してください。

「家族、そして近隣の協力が不可欠」

防犯協会では、警察と協力して防犯指導員による戸別訪問などで呼びかけを行っています。しかし犯人の巧みな話術の前では、お年寄りの方だけでは太刀打ちできません。重要なのは、やはり家族、若者の存在です。

日ごろから詐欺について話し合い、何かあったら相談するようにしましょう。また、電話で「オレオレ」と言われてもまずは別人の名前で呼び返したり、電話口に対応方法を書いたメモを置いておいたりするなど、本人からの電話と区別できる方法を決めておくのも良いでしょう。

昔は「向こう三軒両隣」という言葉をよく耳にしました。一軒一軒が詐欺に対する意識を高め、ご近所付き合いを通じて取り組みを広めていくことで、地区全体で詐欺に対するバリアーを張りましょう。

だましの手口(事例紹介)

最近の傾向として、「かばん(財布)を無くした」と息子や孫になりすまし、電話をかけています。

1 息子をかたる犯人からの電話

- ①「電車の中にかばんを忘れた。中に会社の小切手が入っている」
- ②「携帯電話はかばんの中なので、今は違う電話からかけている」
- ③「駅員から自宅に電話が入るかもしれないので、よろしく頼む」



2 駅員をかたる犯人からの電話

- ①「息子さんの物と思われるかばんを預かっています。中は空です」



3 再度、息子をかたる犯人からの電話

「かばんは空」と伝えたところ…

- ①「小切手を無くして大変なことになった。お金を工面してほしい」
- ②「自分は用事があり取りに行けない。代わりに者が自宅に行くので、その者にお金を渡してほしい」

《ご注意ください》

犯人は「大変なことになった。至急お金の用意を」と緊急事態であることを告げて不安をあおります。「代わりに者が行く」といったら詐欺を疑い、決して現金やカードを渡さないでください。

「迷惑電話チェッカー」 無料モニター募集中

市では、「迷惑電話チェッカー」を無料で利用できるモニターを募集しています。モニターの要件などの詳細は、環境生活課市民生活班(☎73・0088)までお問い合わせください。

モニター期間：設置日～平成28年3月末日

「活用ください」 消費生活センター

消費者被害は、年々幅広い世代に拡大し、被害も深刻化しています。60歳以上の割合が3割を超え、さまざまな悪質商法が高齢者を狙っています。オレオレ詐欺、振り込め詐欺、投資、健康食品など、おいしい話や怪しい話には要注意。センターでは、悪質商法や契約トラブル、多重債務などの相談に、専門の相談員がお応えします。一人で悩まず、相談しましょう。

相談日：月・火・木・金曜日

時間：9～12時、13～16時

場所：市役所3階産業振興課

相談専用電話：☎74・7007

産業振興課商工観光室

☎73・0089

県警ホームページで詐欺の音声を公開

千葉県警のホームページでは、実際に犯人が電話してきた振り込め詐欺の内容を録音したものを公開しています。

《千葉県警ホームページ》 <http://www.police.pref.chiba.jp/>
ホームページトップ→安全な暮らし→「振り込め詐欺に注意」
→「振り込め詐欺被害防止の動画・音声集」

～不審な電話がかかってきたら、
すぐに匠瑛警察署(☎72-0110)へ連絡を～

募集数：100人(先着順)
申し込み方
法：市役所環境生活課窓口にてお申し込みください。申し込み内容の確認後、その場で機器をお渡しします。
※モニター期間中にアンケートへの協力をお願いします。



光や音声で迷惑電話をブロック